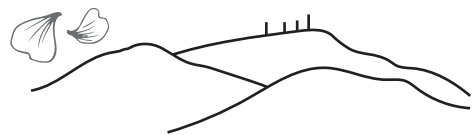


Youth Manna

2020/4/20 - 4/26



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/4/20(月)
ルカ 3:23-38

聖書にはマタイとルカにイエス様の系図が記されている。マタイではアブラハムから系図が始まるのに対し、ルカではアダムまで記しているね。なぜだろう？

イスラエルの祖先はアブラハムから始まる。イエス様もユダヤ人だ。だけど、人類の最初の人であるアダムまで記すことで、イエス様がユダヤ人だけでなく、すべての人のために来られた方ということ伝えるためだったかもしれない。神様はすべての人が救われることを願っておられるお方なんだ。

最初の人アダムによって罪が世界に入ってしまったけれど、人となって来られたイエス様が十字架によって救いを成し遂げられた。私たちはイエス様にどう応えて生きるべきだろうか？ピリピ 2:6-11 を読んで思い巡らしてみよう。

2020/4/21(火)
ルカ 4:1-15

不思議なことにイエス様は聖霊に導かれて誘惑にあいました。サタンはパンでお腹を満たすこと(物理的な必要が満たされることで満足して神様を求めなくしたり):3、権力(自分が特別な高い存在になること)をチラつかせて自分を神様より高い位置に置こうとさせたり:6、みことばを自分勝手な都合の良い理解で使おうとさせたりして:9,10,11、とにかく神様から離そうと今も私達を誘惑してきます。しかしイエス様はそのサタンの誘惑に完全に勝利しました！！

今この時こそ、勝利者であるイエス様のことばをたくさん読んで心に蓄えよう！！

2020/4/22(水)
ルカ 4:16-30

18-19 節でイエス様が読まれたのはイザヤ 61:1-2 の箇所だよ。イエスは「今日、この聖書のことばが実現しました。」(21)と告げる。これは、ご自身が救い主であるとの宣告だが、人々はそれを理解できなかった。人々はイエスを褒め、恵みのことばに驚き、自分たちも癒してもらおうとするが(23)信仰を持つことはなかった。「ヨセフの子ではないか」(22)と家柄を見下し、つまずいたのである。そのような反応を受けイエスは、ユダヤ人ではなく異邦人のために預言者が遣わされた旧約の出来事について語った(25-27)。ユダヤ人は、自分たちは神に選ばれた特別な民だと自負していたので、神の恵みが異邦人に注がれたというイエスのことばに憤ったんだ。

神様は今も多くの人を遣わし、救いを告げておられる。イエス様を救い主として告白し祈ろう！そして、自分も神様から遣わされている者として、イエス様を証していこう！！

2020/4/23(木)
ルカ 4:31-44

今日の箇所では、悪霊に憑かれた人、病気で弱っている人などたくさんの人をイエスが癒され、34 節、41 節では悪霊もイエスがどのような方であるかを理解していたことが分かる。イエスは、神の子であり、神の国の福音を宣べ伝えるばかりか、そのことばの真実さを神の力を持って証した。

知識は信仰とイコールではない。ただ聖書を知っていても、イエスとともに歩いていく決意がなければ何の意味もない。

決意を持って歩もう！そして宣教のためになにができるか改めて考えよう！

2020/4/24(金)
今日も誰かの誕生日
ルカ 5:1-11

中 2 の理科でやる陸風・海風の話覚えてるかな？日中は海から陸の方へと風が吹いたね。マイクがなかった時代、イエスはこの風を利用して声を遠くまで届けました(3)。勉強も面白いかもしれない！

友だちや家族の救いのために祈ったり、インターネットに誘ったりしたのに全然教会に繋がらなかったことがあるかな(5)？それでも私たちは「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くて悪くてもしっかりとやりなさい」(2 テモテ 4:2)という神様の言葉から目を背けてはいけないことを思わされる(6-9)。主が漁師として選ばれるのは、優秀なすごい人ではなくて弱くて愚かで無に等しい者だ(1 コリ 1:26-28)。

あなたが愛する 1 人の友だちの救いのために祈ろう。できたら、信仰の仲間にも名前を伝えて一緒に祈ろう。この状況の中でどうやって愛を伝えられるだろう？仲良くなれるだろう？

2020/4/25(土)
ルカ 5:12-26

イエス様は当時、社会からも、家族からも避けられるような病にいた人々のところへも行って、それを癒された。

実際の病に触れて癒されたことも事実だけど、そのことを通してイエス様はその人の心にも触れてくださった。孤独と苦しみの中にある心に愛とあわれみを注いだんだ。

イエス様がこの地に来たこと、死んで葬られよみがえられたこと、今生きていること、それは、私たちが持っている苦しみに愛と希望を与えるためだね！

自分も含めた実際に病にある人のために、心に苦しみを覚えている人のために、主の愛を知ることができるよう祈ろう！

2020/4/26(日)
ルカ 5:27-39

今日の箇所に書いてあるレビは十二弟子のマタイの別名です。彼は取税人でした。

当時のローマ帝国の手先となって税を徴収していた取税人はユダヤ人から嫌われていました。そして彼らは不正な取り立てをして裕福な生活を送っていました。

レビはこの生活を迷うことなく捨ててイエス様に従いました。イエス様の弟子として召されたことを喜び、取税人の仲間たちにイエス様を紹介するため、自分のために貯め込んでいた富を証のために用いました。一方でパリサイ人や律法学者は、なぜイエス様が罪人と一緒に食事をするのか理解出来ませんでした。彼らはイエス様に従う道よりも、自分の考えや生き方に固執していたのです。

イエス様の前にへりくだり、日々新しくされていくことを求めよう！今日の箇所から語られたことに信仰を持って応えよう！